生物部採集記録

文責：難波竹秋

生物部では年に数回採集を行っていて、その採集を軽くまとめたものです。今回は７回分の記録です。

2010.4.4 平井川編

採集地の最寄り駅から歩くこと約 10 分、川幅 15m ほどの地点での採集を開始。平井川は多摩川の支流のひとつで、あきる野市と福生市の境界で多摩川と合流する。今回は生物部で行った事のない場所での採集となった。

早速川に入るが、冷たい。まだ４月だということと、川の上流であることもあり本当に冷たい。ガクガクしながら採集を続けていくが、寒すぎて結局陸からの採集中心に移行していった。このポイントには川の中に人工的に作られた足場があり、それによって水に入らずとも広い範囲を探ることができ、またそれ自体が魚のポイントとなっていた。

たも網で障害物の陰、草場、底などを狙っていると、まず最初に取れたのはシマドジョウ。その後にカワムツＢ型（以後カワムツ)、スジエビ、ミヤマカワトンボやコヤマトンボのヤゴと思われるものが採集できた。

しばらくすると、溝口が 3cm ほどのギバチを捕まえる。小さいがこの種類は久々に捕まえたものだったので今回のポイントへの期待が高まる。

その後採集を続けていくと、カマツカ、何種類かの川虫類（カゲロウ、カワゲラなど)、また小さいながらも新たに二匹のギバチを捕まえることができた。こちらも大体 3cm ほどであった。

←ギバチ

2010.5.5 野川編

今回の採集場所は多摩川の支流である野川。比較的市街地の中にある川ではあるが、野川台地のふち沿いに続くハケと呼ばれる斜面から流れる清水などにより、場所のわりに良い水質が保たれている。

今回はたも網を使っての採集。始めるとすぐに採れたのがメダカとミナミヌマエビ。特にミナミヌマエビは大量に採れた。これは他の採集場所でも言える事だが、このエビはいるところには集団で大量にいる。メダカに関しては小型のものも多く見られた。おそらくこの春に生まれたものではないだろうか。30cm ほどのコイも採集された。

場所を移動しつつその後も採集を続けると、新たにタモロコとモツゴとを捕まえることができた。また移動中にはシマヘビや、死んでしまっていたが 40cm ほどのナマズを発見。その他にもサギの仲間やカルガモなど鳥類も多く観察されていた。

↑ナマズ（死体）

この場所には生物部も数回来ているが、最後に来たのが 4 年ほど前であり、記録があまり残っておらず、今いる部員にその記憶のあるものがいないので比較することを断念した。
今後またデータを集めていこう。

2010.6.10 平井川編②

この採集では前述した 4 月 4 日に行った場所と同じ場所での採集となった。場所の紹介は省かせていただく。しかし採集場所に着くと川が土嚢の

ようなもので人工的に増水されていた。そのため結果として前回よりも採集が困難となってしまった。またイタチの死体が川の中に落ちていた…合掌。

今回はタモ網だけでなくお魚キラーという市販の仕掛けを使うことになった。深くなってしまったためタモ網での採集は困難だったが、それでもカワムツやスジエビなどを採ることができた。シマドジョウは前回より減ったが見られた。

しばらくしてからお魚キラーの様子を見ると、かなりの量の魚が入っている。ほとんどがカワムツ、一匹だけフナが入っていた。カワムツは15cmには達しようかという大きいものもいて、大きいものには婚姻色が出ているものも多くいた。その後も採集を続けると、今回も川虫やヤゴなどを確認でき、また前回見なかった魚種としてタカハヤを見ることができた。

前回と変わった点として、今回はカエルを見かけた。ずんぐりとしたツチガエルと、滑らかなカジカガエル、またトウキョウダルマガエルも見ることができた。

ちなみにこの日はサデ網も使ったのだが、網の目が大きすぎて魚が逃げる逃げる…

↑ツチガエル

今回の採集結果と4/4の採集結果を比較すると、

①カワムツが圧倒的に多くなっていた。

→これは水温の上昇が原因ではないだろうか。前回と比べると水温の差は歴然であった。水温の上昇により、カワムツが活発になっていたのではないか。

またこの春生まれたと思われるような稚魚も多く見られた。

②一方でギバチ、カマツカ、シマドジョウ等の捕獲量が減った。

→これらの魚種は川底の方にいる種類であるが、今回水深が深くなって

いたために私達が採集しづらかった可能性がある。これが原因ではと思われるが、まだ検証が必要。

③カエルの出現

→これは季節の問題であろう。冬眠していたか、川辺に草が増え、餌となる虫などが増えたために川辺がカエルのすみやすい環境になったのではないか。

2010.7.14 秋川ポイント①編

秋川は多摩川水系の支流の中でもっとも広い川で、源流は山梨県との県境にある三頭山山腹の三頭沢が源流である。

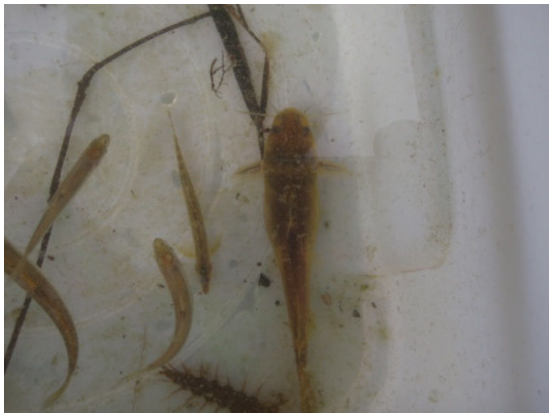
この日に最初に向かったポイントは、かなり流れが速い場所であった。そこで採集を続けるも、流れのために苦戦、結局川虫とそれを餌にしてつったカワムツ１匹のみしか採れなかった。

あまりに渋いので、午後からは下流に移動することにした。この場所は鮎釣りが盛んなようで、川の中にはたくさんの鮎が地上からでも確認できた。歩いていくとよさそうなポイントを発見し、採集を開始する。

採集を始めるとすぐにカワムツと、種は特定できなかったがオタマジャクシが採れた。川の近くにカジカガエルがいたため、その可能性は高い。

その後も採集を続けると、シマドジョウ、カジカ、サワガニ、ヘビトンボの幼虫、そして 10cm ほどのギバチを捕まえることができた。またオイカワを見たが捕まえることはできなかった。

ギバチを捕まえて満足したのと、この日の天気が不安定だったこともあり、その後すぐに解散とした。



↑ギバチ＋色々

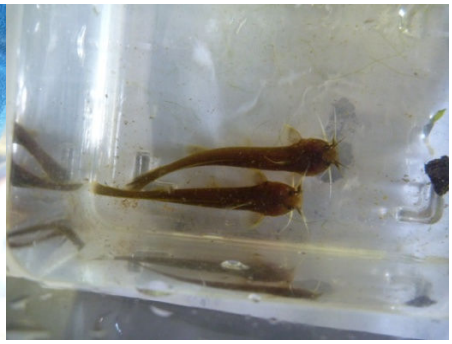
2010.8.4 秋川ポイント②編

今回は比較的多摩川との合流地点に近い場所での採集を行った。前回の秋川に比べると大分流れが弱いが、川幅は狭い。この日は太陽が強く照りつける絶好の川遊び日和であった。

川につくとすぐに川の上からムギツク、オヤニラミやカマツカなどの魚を確認。それもかなりの大きさのものが多くおり、急いで採集の準備。

採集を開始するとすぐにムギツク、オヤニラミ、カワムツを採集することができた。捕れるオヤニラミの大きさは小さいものだったが、二匹ほど8cm ぐらいのオヤニラミも捕まえられた。オヤニラミは元から関東にいた魚ではなく、放流されたものが生息している。これらはどれも水草を狙った場合に見られた。

↑ヘビトンボの幼虫



↑アカザ

また川底を中心に狙ってみると、アカザや川虫類、ヘビトンボの幼虫などといったものが確認された。ヘビトンボの幼虫は奇妙な形をしているが、中々かわいい…と私は思う。

その後も採集を続けると、15cm にはなろうかというカマツカやコオニヤンマのヤゴ、トウキョウダルマガエルなどが捕まるが、オイカワだけは見つけることはあっても捕まえることができなかった。またこの場所は昆虫も多く、特にバッタ類が多かった。ショウリョウバッタのオスの飛ぶときのチキチキ…という音は草むらに近づくたび聞くことができた。

このポイントは魚種も量も豊富でかなり採集に向いた場所であった。

2010.8.6 軍畑編

今回の採集場所は生物部が以前から連続して採集を行っている地点で、軍畑駅から歩いてすぐの軍畑大橋下である。この付近の多摩川は上流であることもありかなり水質がよい。

今回は川の水量が少し増加していたために、以前に比べて少し行動が制限されてしまった。川の流れが速く、危険な場所が増えるからだ。

はじめは川の中ほどで採集を始めるが、流れが速くうまく採集することができない。それでもカジカや川虫は捕まえることができた。その後採集場所を川岸の草むらに変えると、アブラハヤやシマドジョウ、ここでもカジカを捕まえることができた。またミヤマカワトンボが多く見られた。

今回の結果を今までのものと比べてみると、同じ時期でも魚種が減っている。特にチチブは今まで毎回一定数採れていたものだが、今回は見ることがなかった。またヤマメなどは4年ほど連続で確認がされていない。今回は川の増水もあったが、今後も調査を続けていきたい。

2010.8.11 多摩川編

今回は多摩川中流域での採集である。　今回の採集場所は堰堤の少し下流に当たる場所で、水量が落ち着いた場所であった。

採集を開始すると、まず取れたのがカワムツ、こいつは多摩川水系には本当にたくさんいる気がする…だが実はこいつはもともと多摩川にいなかった魚らしく、放流されて生息域を広げているようだ。その後も採集を続けるとムギツク、ミナミヌマエビなどがとれ、オイカワの姿を目撃するもまたしても採集することはかなわなかった。またトノサマバッタが多く見られた。

採集場所を下流に変更すると新たにウキゴリと思われる魚を捕獲。また魚を狙っている最中にラッキーなことに小さめのシマヘビが網に入ってきて捕まえることができた。

↑ウキゴリ？

・採集結果まとめ

採集の報告はここまでで終了なのだが、今回の結果を表にまとめたいと思う。表に載せるのは、採集中に見かけたうち魚類とその他気になったもので、種が特定されたものとした。

	平井川１回目	野川	平井川２回目	秋川①	秋川②	軍畑	多摩川中流
シマドジョウ	○			○	○	○	
カワムツ	○		○	○	○		○
ギバチ	○			○			
カマツカ	○				○		
コイ	○	○	○		○		○
タモロコ		○			○		
モツゴ		○			○		
メダカ		○					
フナ			○				
タカハヤ			○		○		
オイカワ				○	○		○
	平井川１回目	野川	平井川２回目	秋川①	秋川②	軍畑	多摩川中流

カジカ				○		○	
ムギツク					○		○
オヤニラミ					○		
アカザ					○		
アブラハヤ						○	
ウキゴリ							○
ツチガエル			○				
カジカガエル			○	○			
トウキョウダルマガエル			○				
ヘビトンボ幼虫				○	○	○	

ざっとこんなものだ。このように採集した種類を図にしたりなどして来年以降もいくつか同じ場所に行って、比較するのも面白いかもしれない。

・あとがき

　どうだったでしょうか？今年は私が採集好きだったために普段より多く採集に行った気がしますが、採集の雰囲気が少しだけでも伝わるといいと思います。

ネズミ関係の活動…

文責：荒井翔太郎